

木製建具工事における改善

■ 建具鏡面仕様による

キズを減らすには……



横浜支店 真栄会 建築仕上部会

加藤木材工業株式会社

目次

1. テーマ設定の背景
2. 木製建具工事の流れ
3. 木製建具の表面の仕様の多様化
4. 建具の梱包 養生に関して
5. 現場でのキズ対策 及び 作業の見直し
6. 取付完了後のチェックポイント
7. 改善提案のメリット
8. まとめ

1. テーマ設定の背景

◆集合住宅における木製建具の表面材は、通常の木目調オレフィンシート貼りの仕様で、現場納入後の多少のキズは補修にて是正することができた。



◆現在では、鏡面調のシート貼りの木製建具にて納める集合住宅が多くなり、補修による対応が困難になった。

●表面材のシート仕上げにより(コスト増)

★木目調オレフィン 1 : 2.5 ★鏡面調シート

●誰も喜ばない支出の削減

★残材低減意識の向上

★傷の防止

2. 木製建具工事の流れ

- ①仕様打ち合わせ
- ②各納まり検討
- ③カラー・仕様の決定
- ④施工図の完成 承認
- ⑤部材 及び 使用金物の発注
- ⑥WD枠施工完了後、実測
- ⑦製作指示書を作成し、
製作工程へ指示
- ⑧現場工程に合わせて納品手配



2. 木製建具工事の流れ

⑨現場納品・間配り 取付施工

⑩自主検査

⑪初期不具合是正工事

⑫各種諸検査対応是正工事



3. 木製建具の表面の仕様の多様化

集合住宅における表面材

ポリ オレフィン 鏡面調シート 天然木練付



4. 建具の梱包 養生に関して

■ 通常オレフィン(木目調)



上・下
2点ダンボール梱包



建具と同じ厚みのゲタ材
を両サイドいっぱいのところ
に取り付ける。

■ 鏡面調シート



全面ビニール養生後
上・中・下
2点ダンボール梱包



5. 現場でのキズ対策 及び 作業手順の見直し

※社内にて徹底した教育(作業前・中のルール)実施

■ 製品の置き方



和室がある場合



洋室しかない場合

■ 住戸内での作業の際

丁番取付などの
作業を行うスペース
では厚みのある
養生材をしき
作業する



WD開口部におい
て作業する場合
工具類をフローリ
ングの上に置く場
合にはクッション性
のあるシートの上
に工具を置く



6. 取付完了後のチェックポイント

※社内にて徹底した教育(精度基準・自主管理ポイント)実施

- ①カラー等 仕様にあった製品が取りついているか？
- ②開閉運動をさせ、動きに不具合・音鳴りはないか？
- ③取付精度が基準に適合しているか？



吊元



戸先



上部



アンダーカット

7. 改善提案のメリット

- ①エンドユーザーからのキズによるクレーム減少
- ②自社製品 他社施工工事へのダメ低減
- ③補修費等 だれも喜ばないコストの低減

エンドユーザー瑕疵クレーム	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
そり・ねじれ 調整	51	1	9	5	24	0
そり・ねじれ 扉交換	1	2	3	0	5	0
表面シートのしわ	2	0	0	0	0	0
表面の凸凹(デコボコ)	22	0	0	0	0	0
仕上不良の為 交換 (シートはがれ・小口テープふくれ)	40	16	1	14	8	3
ラッチ調整	47	55	69	36	73	56
金物に起因する手直し	478	158	105	203	253	92
	641	232	187	258	363	151

※前年度の仕事の内容 物量にもよる為 前の年より増えた項目もある
弊社として2012年後半より鏡面調シートの仕様が aumentando している。

8. まとめ

表面材のキズに関しては各メーカーの努力により目立ちにくいものになってきています。しかし、新たに鏡面調シートの開発により現場での採用も多くなってきました。梱包方法 現場での仮置き方法、作業手順の見直し等により、綺麗な状態での製品をエンドユーザーに提供できるようになってきている。

住まう人の気持ちになり建物をつくるという使命を、これからも持ち続けていきます。 木製建具工事は瑕疵件数の多い業種です。木製品だから、多少のキズや狂いも仕方がない！ で片付けず。いかにエンドユーザーに末永く気持ちよくお使いいただけるかを追求し、改善を繰り返していく。それにより、作業員の意識も高まり、精度の高い、高品質な製品提供につながっていくものと考えています。